

道路巡回業務におけるAI道路損傷検知システムの導入 (愛媛県今治市)

取組概要

- AIを用いた道路損傷検知システムを導入
 - 道路巡回業務の効率化および**損傷個所の把握を高度化**
- アプリをインストールしたスマートフォンを**民間事業者の車両に搭載**
 - 飛躍的に検出件数が増加**することで、**スピード感をもった修繕対応が可能**
- 人を介さないAIによる判断・抽出により**同一基準で損傷を把握**
 - 道路保全のばらつきを抑止し、**管理の質的向上を促進**

取組の効果

- 道路損傷箇所を網羅的に**可視化し攻めの修繕体制を構築**
 - ・市道走行率：32.5% (市道総延長：L=1,632km)
 - ・**損傷検知件数が大幅に増加：3,833件**
 - 舗装の剥離、亀甲ひび割れ等の把握高度化
 - ・**補修済件数：164件 (舗装の補修)**
 - エリア毎の損傷レベルを把握し補修作業が効率化
- ※件数等はR6.4.1~4.30にて捕捉

創意・工夫した点

- 民間の車両にスマートフォンを設置**して走行することで道路損傷情報がAIで自動検知
 - 市職員のリソース消費なしで業務を効率化
- 損傷種類・地図・写真を**クラウドサービス上の管理web画面において一元管理**、現場職員が**sim搭載のタブレットを携行**
 - 現場直行で補修対応を迅速化

人口 149,730人 (R6.1.1現在)

担当 建設部道路課



他団体へのアドバイス

- 民間業者に補修対応を依頼する場合は、**紙帳票による情報連携対応**となる。
 - 民間業者とデータ連携できるシステム構築等が必要**



設置機材

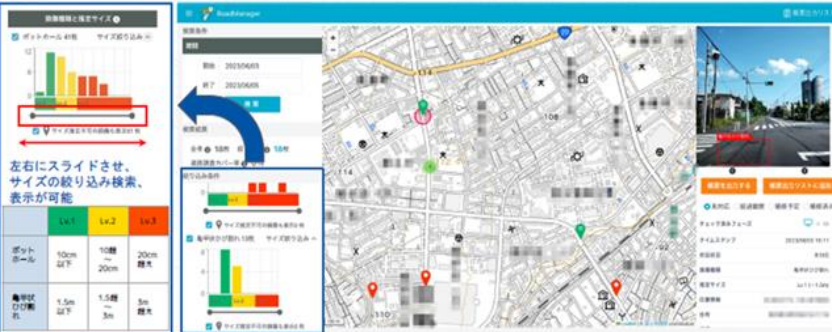
専用アプリがインストールされたスマートフォンを設置



日々の道路巡回

条件を設定して自動検知した損傷を表示

システム機能



左右にスライドさせ、サイズの絞り込み検索、表示が可能

	1.5以下	1.5以上	2.0以上
ポットホール	10m以下	10m以上20m以下	20m以上
亀甲ひび割れ	1.5m以下	1.5m以上3m以下	3m以上

帳票例 (損傷レベル別色分け)